

2018 環境レポート

The earth is defended by recycling.
It challenges the recycling of limited natural resources.

Re-Cycle is Re-Fresh

リサイクルで地球を護る



 株式会社 田中商会

レポート対象期間: 2018年7月1日～2019年6月30日

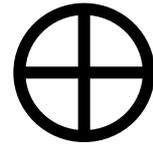
発行日: 2019年9月6日
改訂日: 2019年9月20日

◆ 目 次

◆ 組織の概要	1
◆ 沿革	2
◆ 車両・機械・設備一覧	3
◆ 本社事業許可一覧	4
◆ 処理工程図	5
◆ エコアクション21実施体制	6
◆ 対象範囲	7
◆ 経営理念・環境経営方針	8
◆ 環境活動計画及び評価結果と中長期目標及び単年度結果	9
◆ 部民別取組結果と各部門長による評価及び次年度の取組	10
◆ 目標と実績の比較（加算式グラフ）	11
◆ 受託した産業廃棄物の処理量	12
◆ 環境への負荷の状況(取りまとめ表)	13
◆ 環境関連法規等の遵守状況及び訴訟の有無	14
◆ 代表者による全体の評価と見直し	15
◆ 環境活動及びその他の活動への取り組み	16

◆ 組織の概要

- ・事業所名 株式会社 田中商会
- ・代表取締役 室山 敏彦
- ・所在地 本社 〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395
水島作業所 〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通1-1950-4
- ・URL <https://www.tanaka-rc.co.jp>
- ・法人設立年月日 1952年5月7日
- ・資本金 1,000万円
- ・従業員数 72名
- ・床面積 27,210㎡
- ・環境管理責任者 田中 剛
- ・環境事務局 大垣 史浩
橋本 大介
- ・2018年度処理量 154,474トン
- ・2018年度売上高 3,602百万円



本社工場

営業品目

製鋼原料

- ・各種鋼材屑
- ・ドラム缶、一斗缶、スチール缶その他缶類
- ・機械屑
- ・廃棄自転車
- ・新断屑
- ・その他鉄屑

非鉄金属(銅・アルミ等)

- ・各種銅 銅線屑
- ・ステンレス
- ・アルミ
- ・その他非鉄金属

産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬

企業の事業活動の中で排出される金属、繊維、ガラスなどの「産業廃棄物」や事業所から出される事業系「一般廃棄物」の収集運搬を行います。

製紙原料

- ・ダンボール
- ・新聞、チラシ
- ・雑誌類
- ・その他紙屑や古布
- ・オフィスの機密文書、個人情報などの書類も回収し、安全安心にリサイクルします

産業廃棄物処分業(中間処理)

- ・廃プラスチック類
- ・繊維屑
- ・ガラス
- ・その他木屑等

計量事業証明書

法定計量単位により物証の状態の量を測り、その結果に関し、公に又は業務上他人に、一定の事実が真実である旨を証明する事業です。

◆ 沿革

年表

- 1901年 田中仁三郎が田中屑物店として創業
- 1940年 戦時企業合同
- 1945年 田中兄弟商店として復帰
- 1952年 株式会社田中商会として法人化
代表取締役役に田中勝が就任
- 1969年 倉敷市中島 現在地に移転
- 1974年 500トンギロチン導入
- 1976年 本社東南土地購入
- 1977年 倉敷市水島西通りで伸鉄材加工に進出
現在の水島作業所
- 1980年 本社東南土地に製紙原料工場新築
- 1984年 倉敷市水島で薄板剪断加工に進出
現在の工作所
- 1987年 800トンギロチンに更新
- 1988年 古紙ベーリングマシン導入
- 1990年 代表取締役役に田中穰が就任
- 1991年 本社南土地購入
- 1993年 本社南土地に工作所新築(薄板剪断工場)
- 1997年 機密書類用シュレッダー導入
- 1997年 製鋼原料工場更新
- 1998年 産業廃棄物収集運搬業許可
- 1998年 古紙ベーリングマシン2号機導入(2基体制)
- 2002年 一般廃棄物収集運搬業許可
- 2004年 産業廃棄物処分業許可
- 2004年 自動車リサイクル法解体・破碎許可
- 2005年 スクラッププレス機更新
- 2009年 プライバシーマーク認証
- 2010年 エコアクション21認証
- 2012年 ミニスリッター導入(工作所)
- 2012年 1,000トンギロチン更新
- 2014年 代表取締役会長に田中篤が就任
取締役社長に室山敏彦が就任
- 2015年 機密書類用シュレッダー更新
- 2016年 とび・土工事業
- 2018年 古紙ベーリングマシン更新
- 2018年 代表取締役に室山敏彦が就任

⋮



『創業110年の歩みとともに、これからも使命を終えた層を、再び生まれ変わらすこの事業に、誇りを持って歩み続け、邁進する所存です。』

2011年 代表取締役 田中 穰

変化するリサイクルの世界に挑戦し続ける

【昭和40年 本社】



明治34年2月田中屑物店として創業し、昭和16年太平洋戦争中である日本において企業合同が行われ、我社も一旦はその名前を失いますが、終戦の年である昭和20年に田中兄弟商会として復帰。その後昭和27年5月に株式会社田中商会として新たなスタートを切りました。

昭和52年に水島作業所・平成5年に工作所を創設し、製鋼原料部・製紙原料部・工作所・水島作業所の4部署での現体制が固まりました。

【水島作業所】



【機密書類用シュレッダー導入】



その後も大型機械の導入や更新、プライバシーマーク・エコアクション21の認証も受け、更なる進化を続けております。

【平成5年 本社】



◆ 車輛一覽

車種	台数	備考
大型ヒアブ付車両	3台	
8tヒアブ	1台	
5.5tヒアブ	1台	
10tマルチ	2台	
8tマルチ	1台	
4tマルチ	2台	
25tラフタークレーン	1台	リフマグ付き

車種	台数	備考
8tパッカー	1台	
4tパッカー	4台	
平ボディ	2台	4t・2t
4バン	2台	
2バン	1台	
軽トラック	1台	
営業車	2台	



◆ 主要機械一覽

車種	台数	備考
油圧ショベル	5台	マグネット仕様
	1台	ラバウンティ仕様
	1台	破砕機仕様
	1台	ミニ3.6t
ショベルローダー	4台	

車種	台数	備考
フォークリフト	9台	
	1台	8t
クランプリフト	1台	
フォークローダー	3台	
スライパー	1台	



◆ 主要設備一覽

設備名	設置数	備考
ギロチンシャー	1基	
三方締めプレス	1基	
ジャンボシャーリング	1基	
天井クレーン	2基	Wクレーン1基
ナゲット	1基	
スケール	2基	60t・40t
紐取選別機	1基	

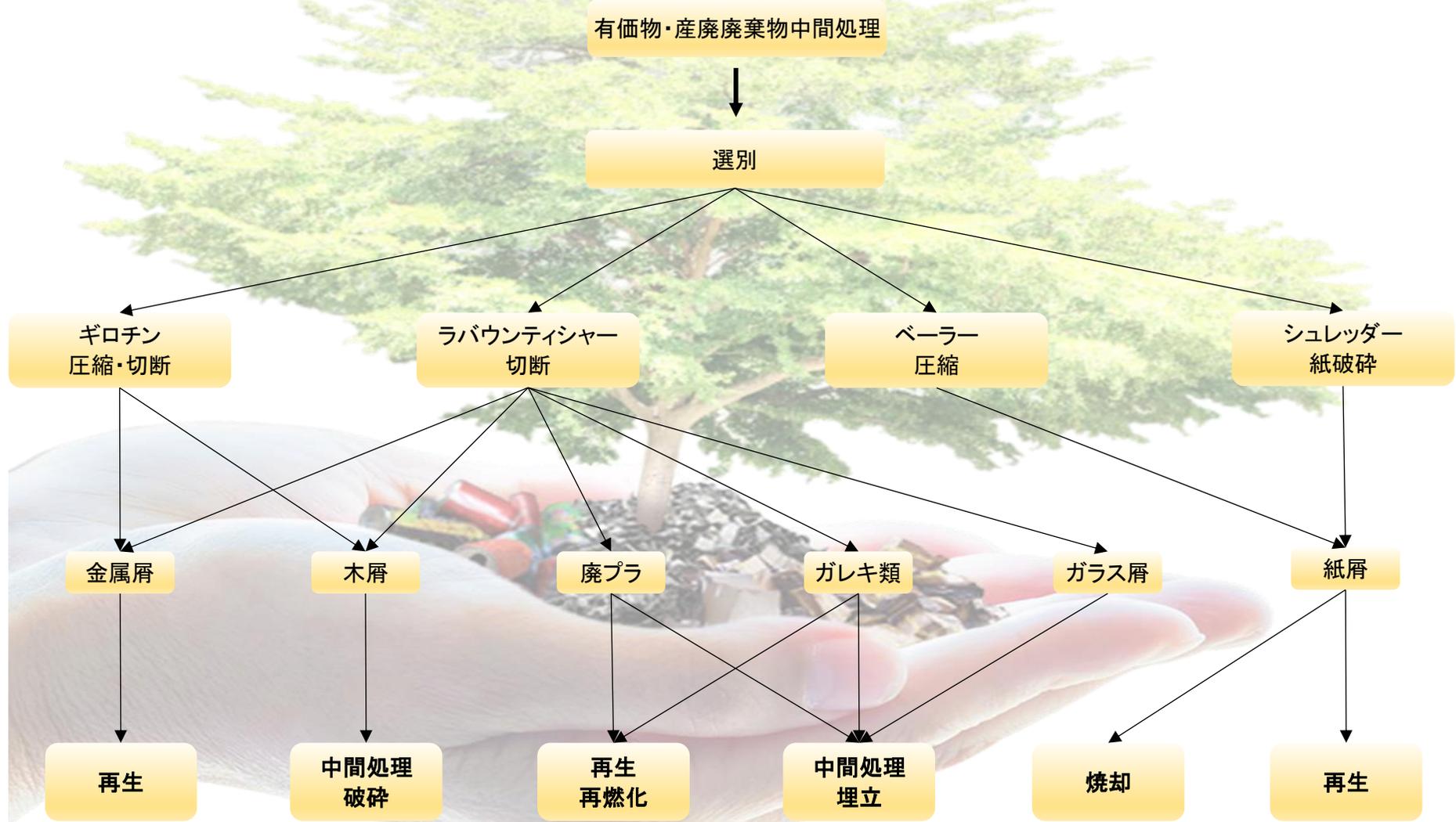
設備名	設置数	備考
ベアリングマシン	3基	
シュレッダー	1基	
ミニスリッター	1基	
2連式オシレート巻機	1基	
フルオートシャー他	4基	
プレス機	2基	60t・80t
ホイスト	9基	4.8t・2.8t・1t



◆ 本社事業許可状況一覧

本社事業許可内容	許可番号	許可年月日 (更新年月日)	許可有効期限
岡山県産業廃棄物収集運搬業 種類:汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、動植物性残渣 金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類	03303057853	H31.1.17	R5.12.23
倉敷市産業廃棄物処分量 事業の範囲(中間処理) 圧縮:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (三方締めプレス 100t/日(8時間)) 切断:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 がれき類(ラバウンティシャー 80t/日(8時間)) 圧縮・切断:廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (キロチンシャー 200t/日(8時間)) 被覆電線剥離:廃プラスチック類、金属屑 (ナゲット 1.6t/日(8時間)) 圧縮梱包:廃プラスチック類、紙屑 (ペーリングマシーン 160t/日(8時間)) 破碎:紙屑(9.6t/日(8時間))	10020057853	H26.10.22	R1.9.21
岡山県特別管理産業廃棄物収集運搬業 種類:廃酸、廃アルカリ	03353057853	H28.8.1	R3.7.24
使用済自動車引取業(倉敷市)	21001000054	H29.6.11	R4.6.10
使用済自動車破碎業(倉敷市)	21004000054	H27.1.6	R1.11.30
使用済自動車解体業(倉敷市)	21003000054	H27.1.6	R1.11.30
倉敷市一般廃棄物収集運搬業(積替保管)	11	H30.4.1	R2.3.31
第一種フロン類充填回収業者	331130037	H29.4.25	R4.4.24
建設業許可(とび・土工)	24916	H28.3.30	R3.3.29
古物商許可	14516	H9.5.23	
岡山県再生事業者登録	14	H5.11.26	

◆ 処理工程図



◆ エコアクション21 実施体制

株式会社田中商会では各部署にEA21担当者を定め、更に部署内で燃料・電気・水・廃棄物の削減担当者を選任し、全従業員が当事者意識を持てるように工夫し、全員参加型の実施体制を構築しております。

代表取締役
室山 敏彦

管理責任者
美化委員長
田中 剛

環境事務局
大垣 史浩
橋本 大介



本社事務所
松浦 洋己

各担当者

製鋼原料部
金池 康明

各担当者

製紙原料部
田中 期

各担当者

工作所
大垣 史浩

各担当者

水島作業所
橋本 大介

各担当者

全社員

役割・責任・権限

代表取締役

システム全体の統括・監査
全体の評価及び見直しと指示
環境管理責任者を任命

管理責任者

全体の進捗管理
環境活動教育の管理開催・招集
環境活動レポートの最終評価
環境活動計画の最終チェック
代表者への報告

環境事務局

管理責任者の補佐
環境計画の素案作成
各部署の記録集計

部門代表及び各担当者

部署内での記録管理
部署内での社員への啓発

全社員

経営理念・環境経営方針・行動指針の理解と実行
各種計画・教育への取り組み

◆ 対象範囲

○ 認証・登録範囲

- ・金属類、紙類の再資源化
- ・金属の加工及び販売
- ・廃棄物(一般・産業)の収集運搬及び中間処理

○ レポートの対象期間

- ・レポート対象期間 : 2018年7月～2019年6月
- ・レポート作成 : 大垣 史浩 橋本 大介
- ・レポート承認 : 田中 剛

○ 対象組織

本社(倉敷市中島)

- 製鋼原料部(8500㎡)
 - ・金属屑の回収及び加工販売
 - ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理

- 製紙原料部(6000㎡)
 - ・古紙の回収及び加工販売
 - ・機密書類のシュレッダー

- 工作所(3500㎡)
 - ・薄板のシャーリング加工及びスリット加工

水島作業所(倉敷市水島)

- 水島作業所(9210㎡)
 - ・厚板の選別及び切断



製鋼原料部



製紙原料部



工作所



水島作業所



本社入口

◆ 経営理念

国益を重んじ社会貢献に努め取引先に愛され、
もって社員の未来を重視すると共に、
子孫より預託された環境を保持し、
且つ改善の一助たるべく社内にあつて自己完結を目指し、
その実行に向け総ての努力を傾注する。

◆ 環境経営方針

株式会社 田中商会は「**リサイクルで地球を護る**」をスローガンに再生資源の回収・加工から廃棄物の収集運搬・中間処理に至る業務を通じて社内自己完結を目指し3Rの普及・推進に努めてまいります。

そして、周辺環境に十分配慮しながら、国家・地域行政と共に循環型社会構築の活動に貢献することにより、経営理念に基づいた環境経営を推進していきます。

行動指針

- ・二酸化炭素(CO2)排出量の削減に努めます。
- ・節水への取組みとして適切な排水管理により、水管理の保全に努めます。
- ・自社発生による廃棄物の削減に努めます。
- ・受託産業廃棄物の再資源化率向上に努めます。
- ・廃棄物処理法、リサイクル法、消防法その他各種法律を遵守します。
- ・グリーン購入の推進に努めます。



平成30年11月1日

⊕ 株式会社 田中商会

代表取締役 室山 敏彦

◆ 環境活動計画及び評価結果

環境目標を達成するための活動を「化石燃料・電力」「水」「自社発生による廃棄物」「受託廃棄物」「環境配慮」の5つの観点から環境活動計画として定め、環境事務局を責任者とし実施する。また半期と年度末には評価を行うと共に、PDCAに基づき必要な改善を図り目標達成に努めます。

	環境活動計画	確認	評価
化石燃料	エコドライブ	○	取り組みが出来ていた。
	アイドリングストップ	△	収集量により長時間のアイドリングが必要となる為。
	効率的なルート選択	○	取り組みが出来ていた。
	1回の運搬量を増加させる	△	混載できない原料がある為、効率の低下が見受けられた。
電力	エアコンの温度管理	○	取り組みが出来ていた。
	各設備不使用時の電源OFF	○	取り組みが出来ていた。
	各設備の稼働率向上	△	取り組みは出来ているが目標増加分の削減には至らなかった。
水管理	地下水及び雨水の使用	○	取り組みが出来ていた。
	蛇口の締め忘れチェック	○	取り組みが出来ていた。
	排水は油水分離槽にて管理する	○	取り組みが出来ていた。
廃棄物	3Rの徹底による廃棄物の削減	△	取り組みは出来ていたが目標削減分には至らなかった。
	定期的な社内教育	△	取り組みは出来ていたが目標削減には繋がらなかった。
環境配慮	車両点検による騒音及び廃棄抑制	○	取り組みが出来ていた。
	会社周辺の清掃(2回/年)	○	取り組みが出来ていた。
	グリーン購入の推進	○	取り組みが出来ていた。
	化学物質の適正な管理及び委託	○	取り組みが出来ていた。

◆ 中長期目標及び単年度結果

中長期目標設定期間:2015年度～2019年度

		2015年度		2016年度		2017年度		単年度目標 2018年度			2019年度	
		目標値	結果	目標値	結果	目標値	結果	目標値	結果	達成率(%)	目標値	結果
削減 目標	化石燃料 (kg-CO2/t)	4.99	5.72	4.89	6.12	4.79	6.36	4.7	6.91	67.9	4.6	-
	電力 (kg-CO2/t)	5.04	5.34	4.94	5.14	4.84	4.84	4.74	5.44	87.1	4.65	-
	温室効果ガス合計	10.03	10.68	9.83	10.89	9.63	10.8	9.44	11.86	79.6	9.25	-
	水 (m ³)	2983	2591	2923	3628	2865	4378	2806	2474	113.4	2751	-
	自社発生産業廃棄物 (t)	129	155	126.4	149	123.9	149	121.4	88.7	139.6	119	-
	自社発生一般廃棄物 (t)	87.4	74	85.7	85.3	83.9	63.1	82.3	71.76	114.7	80.6	-
増加 目標	グリーン購入 (%)	28.6	47.7	29.2	29.7	29.8	42.4	30.4	51.1	168.1	31	-
	廃棄物再資源化率(自社分)	53	74.6	54	75	55	56.6	56	51.4	91.8	57	-
	廃棄物再資源化率(受託分)	53	63.4	54	66.8	55	64.8	56	61.9	110.5	57	-

※中長期目標の増加・削減率は年2%とする

※基準数値は過去3年(2012～2014年度)の平均値を使用

※CO2実排出係数は中国電力の2014年度分(0.706kg-CO2/kwh)を使用

※化学物質は使用していない為目標には設定していない

◆ 部門別取組結果

エネルギー及び水使用目標達成率(%)

		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年間
電力	製鋼原料部	87.5	68.8	100.0	79.5	95.4	82.7	88.8	76.0	88.7	78.1	88.3	88.9	85.2
	製紙原料部	98.2	96.0	95.0	103.4	106.3	98.4	93.6	95.5	101.1	113.3	116.2	121.4	102.9
	工作所	73.7	77.4	86.8	98.9	81.9	79.7	81.5	77.9	71.7	93.3	82.7	73.7	81.3
	水島作業所	123.2	93.7	114.9	118.2	120.3	107.1	107.4	109.9	50.9	87.8	90.5	101.0	100.6
	全部署	90.5	80.4	98.0	89.4	89.2	82.2	89.7	83.5	72.7	87.5	91.1	92.4	87.1
化石燃料	製鋼原料部	73.4	57.6	80.9	70.6	84.7	69.7	81.5	53.4	77.0	59.1	83.3	72.0	71.4
	製紙原料部	64.5	66.5	55.2	71.2	67.0	67.3	75.6	58.9	83.9	69.2	89.3	66.5	68.8
	水島作業所	88.4	88.6	83.6	103.4	78.5	68.5	86.4	73.7	51.2	105.9	82.8	75.4	81.4
	全部署	71.9	66.5	69.4	73.5	70.0	62.9	75.6	56.7	62.2	66.4	77.4	65.9	67.9
水	本社	-	74.7	-	93.0	-	96.0	-	96.0	-	90.1	-	80.9	87.7
	3工場	101.0	-	88.7	-	124.4	-	153.2	-	152.2	-	141.6	-	121.5
	水島作業所	145.0	-	100.7	-	131.4	-	100.7	-	119.3	-	108.5	-	121.8
	全部署	104.6	93.2	119.9	119.3	140.5	114.1	113.4						

※上記パーセンテージ=各月の目標値/実数値

◆ 各部門長による評価及び次年度の取組

＜製鋼原料部＞

電力について昨年より達成率が少し悪くなっている、原因を調べ目標値に近づける努力をする。
化石燃料については昨年同様スクラップの発生量が減少する中遠方の引取も増え、引取る品物が軽いものもあり、目標値より低い水準になった。
水に関しては一昨年の製鋼工場の漏水修理をしてからほぼ目標値を達成している。
次年度の取組は社内での教育を継続し、見直しをしながら目標値を達成するよう全員で努力する。

松浦 洋己

＜製紙原料部＞

電力は昨年の設備更新から省エネに切り替えたので達成できた。今後は工場内の水銀灯の切り替えなど検討していきたいと思う。化石燃料については、アイドルストップ等心掛けたが結果は残念なものとなってしまった。資源回収が最も多くなる9月、2月は車輛がフル稼働する。しかし発生量の落ち込みから生産量が減ったというのも原因の一つと考えられる。
次年度の取組は回収業務の効率化、必要などところは委託するなどをを行い目標値達成に向け努力していきたい。

田中 期

＜工作所＞

工作所内にてエコアクション21担当者を選任し電力削減やそれに伴う環境を構築し3年目になりました。工作所内での冷暖房の温度管理、電源のこまめな切断、機械の保守・点検等に取り組む姿勢は向上してきた。
今年度は、生産量の低下により電力の達成率・目標値を達成する事は出来なかったが、電力の使用量を削減することは出来た為、前年度と同等の原単位を達成できたことについては良かった。
次年度の取組は毎年更新される目標値に近づけるように電力使用量の削減や生産能力が向上しやすい環境になるよう創意工夫をし、今年度と同等に高い意識でエコアクション21に取り組み目標値を達成できるよう努めていきたい。

大垣 史浩

＜水島作業所＞

水島作業所内規模及び人員不足の為作業内容減少に伴い電力消費が減った為結果的に達成できた。化石燃料は重機のリプレイスなどにより今後は多少改善される見込み。
次年度に向けては重機車輛含めて、月々の燃料消費量を各オペレーターに認識させることにより意識改革を促していく。古い重機もあるので更新なども検討していきたい。

田中 満

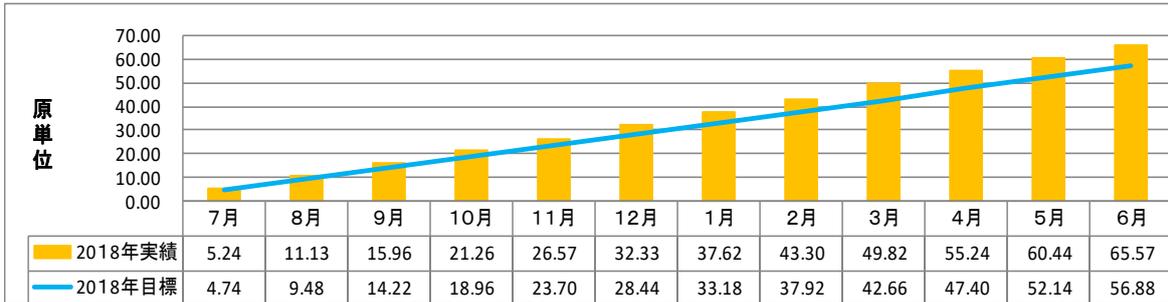
＜廃棄物＞

引き続き中国の環境規制の影響により再生利用分の出荷先が限定されている。また、倉敷市真備町の水害による再生困難な受託産業廃棄物の増加により埋め立て量が増え、再生資源化率が低迷している。

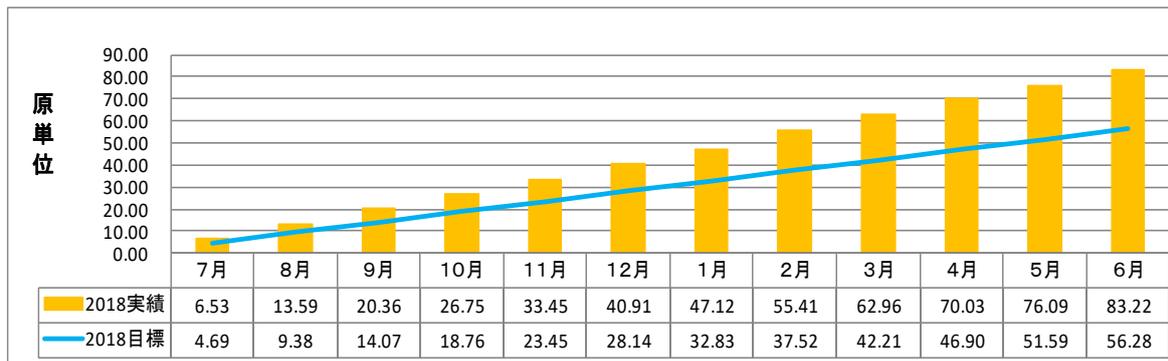
小畑 勇

◆ 月間目標と実績の比較 ~加算式グラフ~

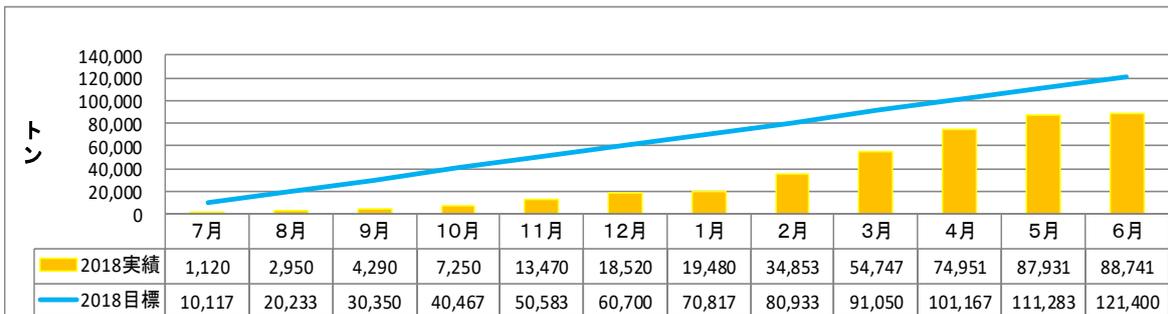
温室効果ガス 電力CO₂ 原単位 ※トンあたり使用量(kg-CO₂/t)



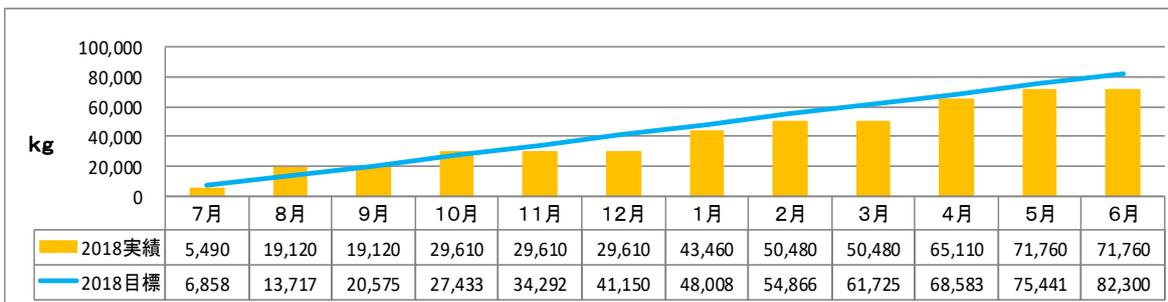
温室効果ガス 化石燃料CO₂ 原単位 ※トンあたり使用量(kg-CO₂/t)



産業廃棄物 ※自社排出分(kg)



一般廃棄物 ※倉敷環境センター(kg)



※月間目標は年間目標の平均数値になります。

◆ 受託した産業廃棄物の処理量

2018年度（ 2018年 7月 ～ 2019年 6月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬(排出業者～処分場)				64.27	
(排出業者～田中商会)		中間処理物		60.97	
収集運搬量合計				125.24	
中間処理	金属屑	切断		454.68	
	紙屑	圧縮		33.89	
	木屑	破砕		14.21	
	廃プラ	破砕		249.92	
	ガラス陶磁器	破砕		58.32	
	がれき	破砕		2.26	
	うち再資源化等	(金属屑)	切断		454.68
		(紙屑)	圧縮		33.89
		(木屑)	破砕		14.21
		(廃プラ)	破砕		0.59
再資源化等量小計				503.37	
中間処理合計				813.28	
最終処分					
最終処分量合計				0.00	
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	廃プラ	安定型埋立(委託)	249.33	
		ガラス陶磁器屑	安定型埋立(委託)	58.32	
		がれき	安定型埋立(委託)	2.26	
	再資源化 等	金属・紙屑	破砕又は圧縮後各メーカーへ	0.59	
		廃プラ	燃料化(委託)	14.21	
		木屑	焼却(炭化)(委託)	488.57	
		再資源化等量小計		502.78	
中間処理後処分量合計				813.28	



環境への負荷の状況(取りまとめ表)

2018年度 (2018年 7月 ~ 2019年 6月)

環境への負荷		単位	2018年度	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-Co2	1,205,687.73	
	()	Kg-Co2		
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	64.27	
	中間処理量	t	813.28	
	うち再資源化等量	t	503.37	
	最終処分量	t	0.00	
	中間処理後の産廃の処分量	t	813.28	
	中間処理後の産廃の再資源化量	t	503.37	
③廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	熱回収	t	71.76
		最終処分量	t	0.00
			t	
	産業廃棄物	再生利用	t	45.65
		最終処分量	t	43.09
			t	
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	618.50	
	下水道	m ³	1,855.50	
④-2 水使用量	上水	m ³	2,474.00	
	工業用水	m ³	0.00	
	地下水	m ³	0.00	
⑤化学物質使用量		Kg	467.64	
⑥エネルギー使用量	購入電力	MJ	7,704,930.94	
	化石燃料	MJ	9,500,758.94	
	新エネルギー	MJ	0.00	
	その他	MJ	0.00	
⑦物質使用量	資源使用量	t	0.00	
	循環資源使用量	t	94,389.62	
⑧サイト内で循環的利用を 行っている物質等量	利用された物質量	t	0.00	
	水の利用量	m ³	0.00	

◆ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました
尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟もありませんでした。

法令等の名称	該当する 条項等	適用される要求事項	最終改定日	違反がないかチェック		
				12月	6月	
基本・一般	○環境基本法	第8条	・事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	H30.6.13	○	○
	○振動規制法	第5条 第6条	・特定工場等に係る規制基準を遵守 ・特定施設設置の届出	H26.6.18	○	○
	○騒音規制法	第5条 第6条	・特定工場等に係る規制基準を遵守 ・特定施設設置の届出	H26.6.18	○	○
大気	●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第6条 第19条	・特定製品(業務用エアコン、冷蔵等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 ・引取証明書による回収・破壊の工程の確認	H30.7.4	○	○
	○水質汚濁防止法	第2条	・水質基準の遵守	H28.5.20	○	○
水質	●下水道法	第10条	・下水道への放流	H27.5.20	○	○
	●浄化槽法	第5条	・設置または変更時の届出	H26.6.13	○	○
		第8～10条 第11条	・保守点検 ・定期検査			
悪臭	○悪臭防止法	第7条 第10条	・規制基準の遵守義務 ・事故時の措置と報告	H23.12.14	○	○
	○循環型社会形成推進基本法	第11条	・廃棄物なることの抑制に努める	H24.6.27	○	○
廃棄物・リサイクル	●廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第6条	・産業廃棄物収集運搬車へのマニフェスト ・許可証等の書面備え付け	H29.6.16	○	○
		第7条	・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要			
		第12条	・廃棄物の保管 ・マニフェストの保存管理			
		第13条	・帳簿の管理			
		第14条	・産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ・許可業者に委託(一廃は許可証の確認) ・許可業者に委託(産廃は契約) ・マニフェスト発行・返送遅延時の届出 ・マニフェスト交付状況の報告			
		第20条の2 施行例8条	・岡山県廃棄物再生事業者登録 ・専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託			
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条上	・ポリ塩化ビフェニル廃棄物	H28.5.2	○	○
	●資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	・専らリサイクル化	H26.6.13	○	○
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)	第4条	・事業者の責務(分別排出の協力)	H23.8.30	○	○
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	・TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	H23.6.24	○	○
○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	・環境物品等を選択するよう努める	H27.9.11	○	○	
●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)		・解体時のリサイクル化	H26.6.4	○	○	
その他	●消防法	第21条の4	・火災報知機の設置(工場500㎡以上) ・屋内消火栓の設置(工場700㎡以上)	H30.6.27	○	○
		第31条の4	・消防用設備等の点検と報告			
	●使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条	・自動車の所有者の責務 ・自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	H26.6.13	○	○
●水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)		・産業廃棄物処理及び保管基準の遵守 ・委託基準の遵守	H27.6.19	○	○	

●遵守義務 ○遵守努力義務

◆ 代表者による全体の評価と見直し

項目	代表者による評価
環境目標の達成状況	昨年部門別目標、水は達成したが化石燃料・電力が残念ながら削減率未達成だった。
環境活動計画の運用結果	原燃料消費が減少したが排出量減で目標率未達成。
全体評価	作業所・製紙原料部・工作所は数値 作業等は通常通りだったが、集中豪雨災害による異常入荷となり製鋼原料部は、廃棄物の処理量が追い付かず在庫が増加した。

※環境目標達成の有無

目標達成できた場合 → 目標の設定方法やレベルに問題はないか検証する

目標達成できなかった場合 → 達成できなかった原因を明らかにする

項目	見直しの有無	有の場合はその指示内容
環境方針	無	
環境目標	有り	金属・古紙以外の再生・再燃化率を高める
環境活動計画	有り	真備地区の家屋解体、リホームが増え過剰在庫とならぬ様効率よく安全作業できる受け入れ態勢をとる。
環境経営システム全般	無	

※見直しの結果、改善が必要だと感じた場合には改善に必要な指示を出す



環境活動及びその他の活動への取り組み

地域清掃活動への参加(年2回)

・草取りと溝清掃の風景



清掃前



清掃中



清掃後



溝清掃



・社内の一斉清掃(年2回)

地域清掃時に社内の草取りも行う。

近隣小学校の四年生を招いてのリサイクル社会科見学



・毎年小学生を招き環境やリサイクルについての課外授業を行い、環境問題やリサイクルについての知識を深めてもらいます。

訓練及び教育

・今年の防災訓練は教育用DVDを見ながら防火対策を部署ごとに話し合いました。

※他3回(KY教育等)

本社・製鋼原料部

工作所

製紙原料部

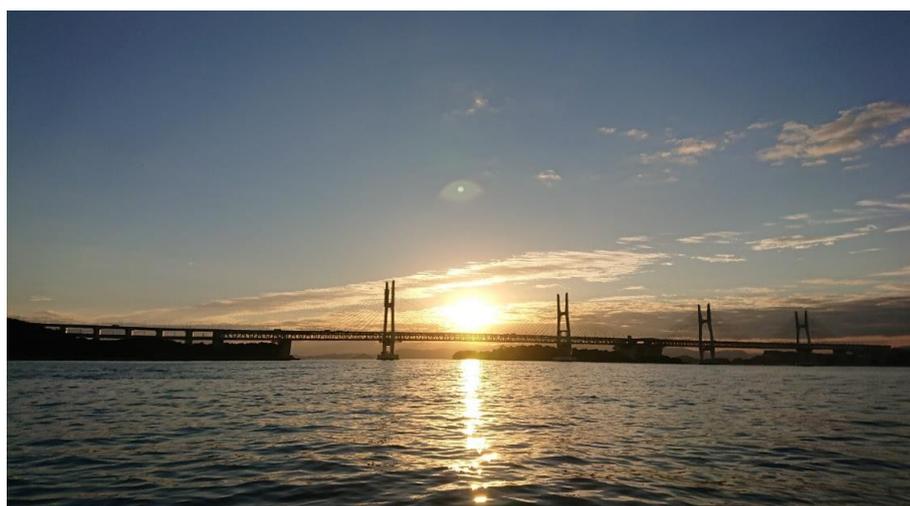
水島作業所



The earth is defended by recycling.
It challenges the recycling of limited natural resources.

Re-Cycle is Re-Fresh

リサイクルで地球を護る



株式会社 田中商会

<https://www.tanaka-rc.co.jp/>

本社・製鋼原料部

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1395

TEL(086)465-3050

FAX(086)465-3051

製紙原料部

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1550

TEL(086)466-1066

FAX(086)465-3601

工作所

〒710-0803

岡山県倉敷市中島1543

TEL(086)465-7866

FAX(086)466-0441

水島作業所

〒712-8073

岡山県倉敷市水島西通り1丁目1950-4

TEL(086)446-4036

FAX(086)445-1561